

[研究名]

多断面 CT 画像を用いた YOLOv8 による<sup>かがくこつ</sup>下顎骨骨折線検出モデルの開発に関する単施設後ろ向き研究  
※YOLOv8 による<sup>かがくこつ</sup>下顎骨骨折線検出モデルとは、“あごのレントゲン画像の中から、骨のひび・折れている部分を自動で見つけるためのコンピューターの仕組み” のことです。

[研究責任者]

香川県立中央病院 歯科・口腔外科 藤村 愛

[研究の対象・方法]

2014 年 1 月から 2026 年 6 月までの間に、当院で下顎骨骨折と診断され、受傷後または術前に CT 撮影を受けた患者さんについて、人工知能技術の一つである深層学習を利用した骨折線の検出を検討します。

治療成績等を検討することは、今後の治療向上に寄与します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町 1-2-1

香川県立中央病院

電話 087-811-3333（代表）